

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C98299-M00028-38

製品名: 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

作成日 2008 年 2 月 12 日
改訂日 2024 年 4 月 26 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入
 カタログ No : 98299
 品目コード : HACH2639
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号
 東亜ディーケーケー株式会社
 東京都新宿区高田馬場 1-29-10
 担当部門 : 生産部 HACH 技術課
 04-2957-6152
 FAX 番号 : 04-2957-9906
 推奨用途 : HACH 社計器への使用に限る
 使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 金属腐食性化学品 区分 1
 健康有害性 急性毒性 (経口) 区分 2
 急性毒性 (経皮) 区分 1
 急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) 区分 3
 皮膚腐食性/刺激性 区分 1
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1
 生殖毒性 区分 1B
 生殖毒性・授乳影響 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (呼吸器 中枢神経系 甲状腺)
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 2 (全身毒性 心血管系 肺)
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (呼吸器 甲状腺 消化管 心血管系
 神経系 腎臓 全身毒性 皮膚)
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 2 (中枢神経系)
 環境有害性 水生環境有害性 短期 (急性) 区分 2
 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 2

(上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。)

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
 金属腐食のおそれ
 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は生命に危険
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 吸入すると有毒

東亞ディーケーケー(株)

SDS 番号: C98299-M00028-38

製品名: 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
 呼吸器、中枢神経系、甲状腺の障害
 心血管系、全身毒性、肺の障害のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、甲状腺、消化管、心血管系、神経系、腎臓、全身毒性、皮膚の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 他の容器に移し替えないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 環境への放出を避けること。

応急措置

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。
 口をすすぐこと。
 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
 漏出物を回収すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

耐腐食性／耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。

地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

東亞ディーケーケー(株)
 SDS 番号:C98299-M00028-38
 製品名:溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	水酸化リチウム一水和物	ヨウ化カリウム	アジ化ナトリウム
含有量	60.0-70.0%	30.0-40.0%	1.0-5.0%
化学式又は構造式	LiOH·H ₂ O	KI	NaN ₃
官報公示整理番号			
化審法	1-712	1-439	1-482
安衛法	—	—	—
CAS No.	1310-66-3	7681-11-0	26628-22-8

4. 応急措置

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだり吸入した場合は、口対口の人工呼吸は行わずに、バッグバルブマスク等の適切な医療用具で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行うこと。遅発性肺水腫を発症する恐れがある。直ちに医師の診断、手当てを受けること。ダストを吸入しないこと。

皮膚に付着した場合

: 直ちに医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類や靴を取り除き、直ちに多量の水と石鹼で良く洗うこと。

眼に入った場合

: 直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼を大きく見開いて洗浄すること。患部をこすらないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 水で口をすすいだ後、多量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状

: 発赤、灼熱感、失明の恐れあり、せき、喘息、呼吸困難

医師に対する特別な注意
事項

: 本製品は腐食性物質である。胃洗浄や催吐はしないこと。胃又は食道穿孔の可能性を診ること。解毒剤は与えないこと。声門浮腫による窒息の恐れあり。また、著しい血圧低下がおこり、湿性ラ音、泡状の痰、高脈圧を発症する恐れがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

: データなし

火災時の特有の危険有害性

: 眼、皮膚及び粘膜の火傷を引き起こすことがある。熱分解により刺激性のガスや蒸気を発生することがある。

消火を行う者の保護

: 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

: 眼、皮膚、衣類との接触を避けること。適切な換気を行うこと。指定された個人用保護具を使用すること。漏出区域から離れた風上に退避させること。腐食性物質のため注意を払うこと。ダストを生成しないこと。またダストを吸入しないこと。

保護具及び緊急時措置

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C98299-M00028-38

製品名: 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

- 環境に対する注意事項 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。環境へ流出することを防ぐこと。土壤や下層土に流出させないこと。漏出物を排水系に流出させないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。工具を用いて漏出物を適切な容器に集めること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避ける。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。本製品を使用する際は、密閉された装置、または適切な排気装置を使用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。ダストや煙霧を吸入しないこと。またダストを生成しないこと。
- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : データなし
- 接触回避 : データなし
- 保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。湿気から保護すること。施錠して保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。他の物質から離して保管すること。
- 安全な保管条件 : 他の物質から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : OSHA PEL ;
 アジ化ナトリウム : (vacated) Ceiling 0.1ppm
 (vacated) Ceiling 0.3mg/m³
- ACGIH TLV ;
 ヨウ化カリウム : TWA 0.01ppm
 アジ化ナトリウム : Ceiling 0.29mg/m³, Ceiling 0.11ppm
- 設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 適切な換気
- 手の保護具 : 保護手袋、不浸透性手袋
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、保護面
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）、耐薬品性白衣
- 一般的な衛生上の注意事項 : 適切な保護具を着用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体（結晶）
- 色 : 白色
- 臭い : 微臭
- 分子量 : データなし
- 融点／凝固点 : 110°C; 230°F

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C98299-M00028-38

製品名: 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 該当せず
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 12.6 (5%溶液、20°C)
動粘性率	: 該当せず
溶解度	: 水: 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F) 酸: 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: log K _{OW} 約 0
蒸気圧	: 該当せず
密度及び／又は相対密度	: 1.94
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応

反応性	: 水接触腐食性、金属腐食性
化学的安定性	: 適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	: 通常使用下にて特になし
避けるべき条件	: 長期間の空気や湿気へのばく露、過度の熱
混触危険物質	: 酸化剤、酸類、塩基類
危険有害な分解生成物	: 熱分解により刺激性で有毒性のガスや蒸気を発生することがある。 金属との接触により可燃性の水素ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	
(経口)	: 急性毒性推定値 LD50=45mg/kg
(経皮)	: 急性毒性推定値 LD50=20mg/kg
(吸入: 粉じん, ミスト)	: 急性毒性推定値 LC50=0.96mg/L
皮膚腐食性／ 刺激性	: 混合物の皮膚腐食性／刺激性成分濃度により区分1とした。
眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性	: 混合物の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性成分濃度により区分1とし た。
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 本製品はACGIH、IARC、NTP、OSHAの発がん性物質リストに記載された 成分を含まない。
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性成分濃度により区分1B+授乳影響とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 成分濃度により 区分1 (呼吸器 中枢神経系 甲状腺) 区分2 (全身毒性 心血管系 肺) と した。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 成分濃度により 区分1 (呼吸器 甲状腺 消化管 心血管系 神経系 腎臓 全身毒性 皮膚) 区分2 (中枢神経系) とした。
誤えん有害性	: データなし

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C98299-M00028-38

製品名:溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

1 2. 環境影響情報

生態毒性	:	アジ化ナトリウム : 藻類 96 時間 ErC50=348 μ g/L
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	有機炭素/水分配係数 $\log K_{OC}$ 約 0
オゾン層への有害性	:	データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	:	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	:	容器を再利用しないこと。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	:	毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報	:	船舶安全法及び港則法に従う。
航空規制情報	:	航空法に従う。
国連番号	:	2680
品名(国連輸送名)	:	水酸化リチウム
国連分類	:	クラス 8 (腐食性物質)
容器等級	:	II
緊急時応急措置指針番号	:	154
輸送の特定の安全対策及び条約	:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行なう。

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name	:	Lithium Hydroxide Mixture
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	UN2680
Packing Group	:	II

航空規制情報

Proper Shipping Name	:	Lithium Hydroxide Mixture
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	UN2680
Packing Group	:	II

海上規制情報

Proper Shipping Name	:	Lithium Hydroxide Mixture
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	UN2680
Packing Group	:	II

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類: クラス 9 (その他の危険物質)、国連番号: 3316

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C98299-M00028-38

製品名: 溶存酸素 2 試薬 PP 100 包入

15. 適用法令

- 化学物質管理促進法 : 該当せず
(P R T R)
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
水酸化リチウム（政令番号：320）
沃素及びその化合物（政令番号：606）
アジ化ナトリウム（政令番号：9）
危険物・爆発性の物（施行令別表第1第1号）アジ化ナトリウム
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧）水酸化リチウム水和物
- 毒物及び劇物取締法 : 毒物（指定令第1条）
アジ化ナトリウム及びこれを含有する製剤
劇物（指定令第2条）
水酸化リチウム一水和物及びこれを含有する製剤
- 港則法 : その他の危険物・腐食性物質（法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）水酸化リチウム
- 海洋汚染防止法 : 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号）ヨウ化カリウム
- 船舶安全法 : 腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）水酸化リチウム
- 航空法 : 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）水酸化リチウム

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No. M00028 (Dissolved Oxygen 2 Reagent)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC+ 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

G H S 分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、H A C H 社のG H S 分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。